

## 2023年度

科目名称	臨床整復学
授業コード	BH152
英語名称	Clinical theory of reposition by Judo 1
学期	2023年度後期
単位	1.0
担当教員	佐藤 勉 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	柔道整復学総論を基礎として、上肢骨折理論、および整復、固定等の手順を学習し、臨床のための基礎を構築できるようにする
科目に関連する実務経験と授業への活用	長年接骨院で患者をみてきた柔道整復師である教員が施術経験を活かして上肢骨折に関する理論、および整復、固定技術の実践的方法について講義する。
到達目標	カリキュラムポリシーに掲げる「柔道整復の専門知識を学び、論理的思考を養う」ために、下記の到達目標をあげる。 1. 各骨折についての発生機序から症状などを説明でき、診察法、応急処置、治療法、後療法などを適切に実施できる知識を身に付ける。 2. 学んだ知識をもとに患者の状態を的確に判断し適切な治療を行うことができる。 3. コミュニケーション能力を発揮できる。
計画・内容	以下の講義について柔道整復師である教員が実務経験を活かして授業を行う。 1 ガイダンス、骨折総論骨の性状による分類から外力の働き方による分類 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。復習：教科書を復習しておくこと。  2 骨折の症状から続発症 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。復習：教科書を復習しておくこと。  3 骨折の後遺症から鎖骨の形態、鎖骨に付着する筋について 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。復習：教科書を復習しておくこと。  4 鎖骨骨折 発生機序、転位について 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。復習：教科書を復習しておくこと。  5 鎖骨骨折 症状、整復法、固定法について 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。復習：教科書を復習しておくこと。  6 鎖骨骨折、非観血限界点、後療法。肩甲骨骨折について 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。復習：教科書を復習しておくこと。  7 上腕骨近位端部骨折、上腕骨骨頭骨折、解剖頸骨折、上腕骨外科頸骨折について 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。復習：教科書を復習しておくこと。  8 上腕骨外科頸骨折 鑑別診断。上腕骨大結節、小結節骨折について 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。復習：教科書を復習しておくこと。  9 上腕骨の解剖 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。復習：教科書を復習しておくこと。  10 上腕骨骨幹部骨折について 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。復習：教科書を復習しておくこと。  11 上腕骨顆上骨折 発生機序から症状

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。 復習：教科書を復習しておくこと。</p> <p>12 上腕骨顆上骨折 肘評価に用いる単純X線像上の角度。上腕遠位部の解剖について 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。 復習：教科書を復習しておくこと。</p> <p>13 上腕骨外顆骨折について 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。 復習：教科書を復習しておくこと。</p> <p>14 上腕骨内側上顆骨折について 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。 復習：教科書を復習しておくこと。</p> <p>15 総合復習 予習：教科書の該当項目を通読しておくこと。 復習：教科書を復習しておくこと。</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>パワーポイント資料を提示しながら講義を中心に授業を行う。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>該当しない</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<p>次回学習する内容について教科書の重要事項を学習し、復習としてはその授業で実施した内容を整理しノートにまとめる。</p> <p>授業前には教科書の各該当箇所を読んで不明な箇所はまとめて授業の際に確認する：各回1時間～2時間</p> <p>授業後は教科書や配布プリントを関連付けて講義ノートを整理する。：合計60時間程度</p>
<p>教科書・参考書</p>	<p>「柔道整復学・理論編 (改訂第7版)」南江堂</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>成績評価基準：到達目標に達成しているかどうか 成績評価方法：定期筆記試験（100%）</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>講義で行った内容の小テストなどを行う。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>Campus Squareを参照</p>
<p>留意事項</p>	<p>解剖学(骨、筋)は理解しておく事</p>
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>授業の進め方：課題提出および必要に応じてオンライン講義を実施する。</p> <p>成績評価基準：到達目標に達成しているかどうか。 成績評価方法：定期筆記試験(100%)</p>